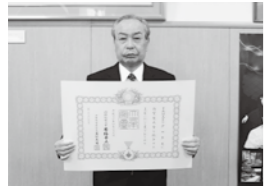


春の叙勲 おめでとうございます



瑞宝双光章
沖田 聖史 (77) さん
元 広島県甲田町消防団副団長

昭和32年1月に甲田町消防団に入団。昭和54年に甲田町消防団分団長、昭和58年に甲田町消防団副団長を務められ、40年以上のながきにわたり、甲田町の消防団発展に寄与されました。また、平成5年に甲田町農業委員会会長、平成8年に広島県農業会議常任会議員、平成7年に高田郡農業共済組合組合長、平成22年に広島県西部農業共済組合組合長を務められ、地域の農業発展にも寄与されました。

春の褒章 おめでとうございます



藍綬褒章
中田 賢男 (70) さん
民生・児童委員

平成13年12月に高宮町民生委員児童委員協議会会長就任以来、過疎化、少子高齢化に悩む地域を活性化するため、小学校・中学校との連携を重視した活動に取り組み、地域の福祉の充実のため現在も精力的に活動を続けています。

全国大会出場おめでとうございます

第36回西日本軟式野球大会2部

高宮地区体育協会野球部

片岡 耕一郎、武内 康二、大番 良徳、河野 雅和、熊高 洋一、秋國 武志、近永 友真、上田 憲吾、遠野 豪紀、熊高 慎二、行森 佳紀、山崎 康弘、河野 恵、熊高 良二、秋本 哲治、片岡 壮元、熊高 順八、片岡 一隆、岸 昌司、山崎 通敏



アート祭りでケーキ販売をする子どもたち



向原図書館に寄贈する本

活動ができたと思います。本は、向原図書館に日本語訳がある英語の絵本を中心に選んで寄贈されます。「絵本には元氣イングリッシュクラブのラベルを貼ってもらえるので、子どもたちも自分たちの活動が本の寄贈につながったことをより実感できると思います。子どもたちが大きくなったときに、地域の子どもたちに絵本を読み聞かせたいな、と思っています。」子どもたちと地域の未来のために、元氣イングリッシュクラブが寄贈する絵本は、6月中に向原図書館に所蔵される予定です。みなさんも、向原図書館を訪れた際は、子どもたちの地域貢献活動から贈られた絵本を手にとってみてはいかがでしょうか。

「教室に来てくれる子どもたちには、英語だけではなく、地域のことも学んで、郷土を大切にする国際人に成長してほしいと思っています。」
そう語るのは、元氣イングリッシュクラブを主宰する小松 かつみさん。英単語や英会話を教える英語教室のレッスンのほかにも、昨年8月に土師ダムで英語活動イベントを行ったり、11月に開催された「いのしかんフェスティバル」で英語の発表をしたりと、さまざまな取り組みを行っています。
子どもたちと、将来この地域に住む子どもたちのために、本を寄贈したらいけないか、と考えた小松さんは、4月に向原で開催されるアート祭りで子ども

「教室に来てくれる子どもたちと一緒にケーキを販売し、その売上金で英語の絵本を買い、向原図書館に寄贈する、という計画を立てました。3月末から子どもたちが主体となってポスター原案、看板制作などの準備に取り掛かり、アート祭りの前日には向原生涯学習センターみらいの調理室で、えびす茶など地元の素材を使ったケーキを作りました。」
「アート祭りのステージ発表で英語の歌を披露したときにケーキの宣伝をしたこともあり、販売は大盛況で、販売開始から1時間半で完売しました。私も子どもたちも楽しめた。私も子どもたちも楽しめた。私も子どもたちだけの思い出に終わらず、本を寄贈することが、地域のためにもなります。子どもたちの教育にとつても、地域のためにも、よい

活動ができたと思います。本は、向原図書館に日本語訳がある英語の絵本を中心に選んで寄贈されます。「絵本には元氣イングリッシュクラブのラベルを貼ってもらえるので、子どもたちも自分たちの活動が本の寄贈につながったことをより実感できると思います。子どもたちが大きくなったときに、地域の子どもたちに絵本を読み聞かせたいな、と思っています。」子どもたちと地域の未来のために、元氣イングリッシュクラブが寄贈する絵本は、6月中に向原図書館に所蔵される予定です。みなさんも、向原図書館を訪れた際は、子どもたちの地域貢献活動から贈られた絵本を手にとってみてはいかがでしょうか。



英語教室では、ゲームや歌などを交えながら楽しく英語を学んでいます

子どもたちと地域の未来のために 元氣イングリッシュクラブ (向原町)

違う文化から日本を考える

人権多文化共生推進課 ☎4215630



民族性って意外と：東日本大震災の時、東北の人々が我慢強く並んだことが、世界で驚異の目で見られた。東北人は我慢強いとニュースになった。あの整然とした姿にも感服した。その姿は日本人にも当てはまると考えた人も多いと思う。しかし、気質だと説明できるだろうか。そこには重要な背景がある。「避難者に最後まで食料を配る」ことへの信頼と平等である。手には渡さない、無いは渡さない。無ければ何とかみんなに手に渡すよ

うに、例えば役所は、する。だからこそ、人は安心して並べられるのである。もしそうでなければどうだろうか。若い人は知らないだろうが、1970年代、石油ショックではトイレットペーパーや洗剤が無くなる。噂になり、人々は先を争って買った。私もその映像を覚えている。日本人は整然と並ぶのではなかったのだから。待つては手に入らないとわかっている時、人は変わる。
私たちは文化の違いを「日本人だから」「外国人だから」と民族性でよく説明する。だが、私は反対である。見るべきは人ではなく、社会である。生まれながらにして日本人なことではなく、その社会の中で生きることで価値観を身につける。そして、社会は様々な仕組みから成り立っている。もし、日本が早い者勝ちでしか物が手に入らない社会なら、日本人でも並ばないのだ。日々の制度があり生活が成り立ち、その上で日本人として生きていく。このことは、民族性がいかに曖昧であるかを物語っている。民族性を語る時、その背景や社会の仕組みを知ることが大切だ。民族性って意外といい加減ですよ！

(文) 県立広島大学
イラスト... スチュアート 准教授
上水流 久彦 講師

減らそう犯罪 ⑦6 送り付け詐欺にだまされないで! ひるまないで!

一人暮らしの高齢者を狙って健康食品を送り付け、電話で「注文したじゃないか、記録もある、裁判所に訴える」などと言いがかりをつけ、代金を支払わせる悪質な送り付け商法が続いています。
正規業者はいきなり裁判するなどと言いません。いったん引き取ってもらい、身内や知り合いに相談し、改めてその商品が欲しいのか検討すれば良いのです。
頼んでいない商品は、業者の言いなりにならず、受け取り拒否しましょう。
一人で悩まず、すぐ誰かに相談しましょう。



安芸高田警察署交通ミニコーナー H26.5末現在

●平成26年交通事故発生状況(年間累計) 安芸高田警察署管内

区分	本年	前年	前年同期比増減数
人身事故	48件	63件	-15件
死者数	0人	2人	-2人
負傷者数	77人	75人	+2人

○管内の交通事故の特徴
※5月中に発生した人身事故の特徴は
○交差点での出会い頭事故
○追突事故です。
交差点等における確実な安全確認及び前方に対する注視をお願いします。

○梅雨時の交通事故防止
雨の日は、スリップ事故が多発します。
・晴れの日よりも速度は控えめに
・スリップ事故防止のため「急」のつく、急ブレーキ・急発進・急加速をしない
・タイヤ・ワイパーの点検・整備は早めに
※飲酒運転の根絶
地域・職場・家庭内で「飲酒運転を絶対にしない・させない」という意識を共有しましょう。
※高齢者の交通事故防止
ドライバーは、子ども・高齢者を保護する「思いやり運転」を心掛けましょう。
※高速道路における交通事故防止
故障や事故などで、やむを得ず高速道路に止まる場合は、非常駐車帯や路肩に止まり、必ず停止表示板を表示しましょう。
また、不用意に車道に出ないようにしましょう。
☆平成26年広島県交通安全年間スローガン 「ゆずりあい そのやさしさも おもてなし」